

子育て支援情報紙



第326号

えんぜる



令和 7年 7月 1日
足寄町教育委員会
Tel 0156-25-3188
▼バックナンバーはこちら

7月

子育て支援カレンダー

紙 面

一面……保護者の目線で情報『セタについて』
三面……休憩室「リサイクル消費生活」・ひよこクラブだよ
四面……お勧めの本・助産師から・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
		1 えんぜる編集会議 11:00~	2 おはなし「たんぽぽ」 11:00~11:30 対象:3歳未満	3	4	5
6	7	8	9 ひよこクラブ 消防署見学	10	11	12
13	14	15 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	16	17 「すくすく」 10:10~11:50 町民センター和室	18	19
20	21	22	23 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	24	25	26 絵本の会はらっぱ 11:00~11:30 対象者:どなたでも
27	28	29	30 ひよこクラブ ブルーベリー狩り	31		

つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週:月・火・木・金の9:30~11:30、事前予約不要、詳細は子どもセンター【Tel0156-25-4415】まで
 児童館・つどいの広場⇒ 月~金 10:00~11:50 開放詳細→【Tel0156-25-7575】※児童館・つどいの広場は、小学校の夏休み中はお休み!
 ひよこクラブ⇒詳細はつどいの広場と児童館のポスター参照!問合せは、子どもセンター【Tel0156-25-4415】まで
 むすびれっじ「こどもの広場」土日祝開放

☆「えんぜる編集委員」募集中☆

「えんぜる編集委員」とは、子育て世代の親たちが、ボランティアで本紙の取材・執筆を分担し担当してくださっている方々のことです。月1回の編集会議では、和気あいあいと日頃の子育ての情報交換や悩みごとを共有するなど、楽しい時間を過ごしています。

気楽なつどいですので、参加してみようかなと思われる方は、お気軽に下記までご連絡ください。お待ちしております。

(足寄町教育委員会 生涯学習室生涯学習担当 長江・松村・高井) (Tel0156-25-3188)





北海道の七夕のなぜ～8月7日??



北海道で8月に行う地域が多いのは、「旧暦」と「新暦」の違いが影響しています。

明治時代の1872年11月に新暦として太陽暦が採用されたことにより、旧暦に比べおよそ1ヶ月ほど日付けがずれました。7月7日が七夕の地域は、新暦に移行した際も元々、七夕を行っていた旧暦の7月7日という日付けをそのままにして新暦でも7月7日に実施しているのです。一方、8月7日が七夕という地域は、旧暦の「7月7日」は新暦では、およそ8月に相当するため、元々開催されていた日の7日だけを残して月遅れの8月7日を七夕にしているそうです。

函館、根室などでは、旧暦のまま7月7日に実施しています。

☆北海道の七夕に風習があるのをご存知ですか？



北海道の七夕には、子どもたちが「ローソク 出～せ出～せよ」と歌いながら家を回って、お菓子をもらう「ローソクもらい」という風習があります。

七夕の日に、浴衣に着替えて行灯を持って歌を歌いながら大人たちからお菓子をもらいます。

かつては、北海道全域でも行われていて、地域によって違っていたようです。実施する地域が年が経つほどに少なくなってきて、今では函館で続く風習として知られるようになったそうです。

「ローソク 出せ」と歌う理由のルーツは、函館にあります。函館に残っている記録によると、江戸時代の後期から当時の函館では、ねぶたのような山車と灯炉が町中を埋め尽くすお祭りがあり、その山車を照らすのに使っていたのがローソクだったと言われています。子どもたちは、その明かりのためのローソクを各家から集めていたので、「ローソク 出せ」と歌っていた訳です。しかし、その後、明治政府の方針などの影響で徐々に函館でのねぶたのようなお祭りはなくなり、ローソクを集める必要がなくなりました。

「ローソクもらい」は後にローソクからお菓子へ自然と変わり、今も継承されています。

簡単再利用！ 保冷剤で作る「彩り消臭剤」



用意するもの

- ・保冷剤(※固く凍るタイプのものを常温にする)
- ・グラスや空き瓶、透明な容器
- ・絵具や食紅、パステルの粉、水性ペン
- ・好みでビーズ、ガラス小物、貝殻など
- ・アロマオイル
- ・ガーゼやキッチンペーパー
- ・リボンや紐
- ・割りばし



- ① 保冷剤を瓶に入れる。
- ② 色を付ける。写真は食紅を使用。割りばしで混ぜる。
- ③ 好みで保冷剤の量を調整する。写真の見本は小さい保冷剤を 2 個使用！
- ④ 貝殻やビーズなどを置く。必要があれば混ぜる。
- ⑤ 好みでアロマオイルを加え混ぜる。(無くても OK！)
- ⑥ 虫の侵入やホコリがつくのを避ける場合は、ガーゼやキッチンペーパーで覆う。
- ⑦ リボンや紐で仕上げる。



夏に大活躍の保冷材が必要以上に余ったり破れたりしたときは、お子さんとチャレンジしたり、子どもが寝静まった後に好みの香りや色付けで消臭剤に変身させてみたりしてくださいね♡2～3 週間楽しめます☆

ただし、保冷剤の中身は水と高吸水性ポリマーなので、小さいお子さんの誤飲には要注意です！使用後は小さくなり固くなるので可燃ごみとなります！

ひよこクラブだより

現在、ひよこクラブでは会員を絶賛募集中です。入園前のお子さんなら0才でも構いませんよ。一緒に色んな体験をしませんか？

7月は9日に消防署見学、30日にブルーベリー狩りを予定しています。
どちらもベビーカーでの参加も可能です!!

今後の活動・・・8月はお休み、9月24日は野菜収穫体験、
10月15日は自由遊びとお誕生日会を予定。



お問合せ先は子育て支援センター（25-4415）
または、ひよこクラブのグループLINEまで。

←5月のお誕生日会の様子です



☆☆☆私 の 見 つ け た お 勧 め の 『 本 』 ☆☆☆

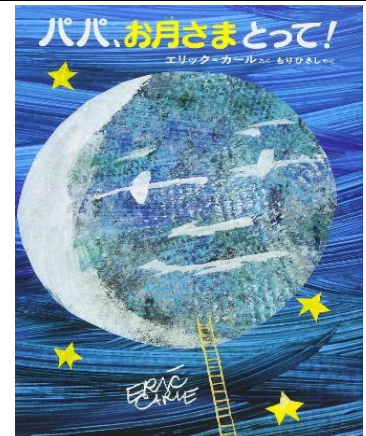
絵本『パパ、お月さまとって!』

作：エリック カール 訳：もりひさし 出版：偕成社

七夕が近づくと、夜空を見上げる事が多くなります。足寄の空には見事な天の川、そして流れ星も当たり前に飛んでいるのを観ることができ、数知れないお願い事をしています笑

そんな夜空、お月様も綺麗に見えますね。この絵本はパパが主役！是非パパに読み聞かせをお願いしてみても！

しかけ絵本はビリビリになってしまうので、なかなか手が出せないと思いますが、いつの日かビリビリもまた良い思い出になりますよ笑

水遊びで育てる
『じぶんを守る力』

家庭での水遊びが増えるこの季節。つつい裸にさせてしまいがちですが、実はこれ、“体の大切さ”を伝える絶好のチャンスなんです。

「服の下で体を守っているものはなーんだ？」——正解は、肌着やパンツ。

自分の体を守るための大切なアイテムです。

水着や肌着で遊ぶ場面では体の大切な部分＝“プライベートパーツ”（お胸・おまた・お尻・お口）を守ることを伝えましょう。『守るために着ようね～つけようね～』という声かけがポイント。もちろん、普段の生活の中でも伝ええるとGOOD◎

「ここは、自分だけが見てOK・触ってOKなところなんだよ」

「人に見せたり、触らせたりしないでいいんだよ」

さらに、プライベートパーツを「見せて～」「触って～」と声をかけることもNG！と伝えてあげてください。

そして何より伝えたいのは、「体はぜんぶ大事」ということ。

水遊びを通して、“自分を大切にできる気持ち”を育てていけるといいですね。



編集後記

父が釧路の病院に入院しました。手術前の説明とサインをするために向かい、説明まで少し時間があつたので、家を出る前に撮った我が家の庭の写真を父に見てもらうことに。

数年前、実家を解体することが決まってからの数ヶ月、週末のたびに実家へ通い、庭の花や植木・石たちを運べる範囲で引き継いで我が家の庭に移植したものたちの写真です。

漁師で働き盛りの時代、多忙の中でも限られた時間で両親はあちこちへ出かけて、何十年とかけ少しずつ集めて大切に育てて来た、どれも思い出深い植物たち。ふたりの唯一であり共通の趣味でした。

特に、父が目を細めて懐かしそうに見たのは、我が家の庭からこの数年で自然と種が飛んで増えた、石の間から花を咲かせているひなげしの写真でした。

昆布漁師だった実家は、家の前の海までが全て石浜で、そこに父と兄が採って来た昆布を干していました。幼い私の家業を手伝う日常の傍らには、いつもひなげしが咲いていたものです。

仕事に追われる若き日の父と母は、潮風に揺れる庭の植物たちに、そして干した昆布の向こうに、輝くように鮮やかな色で咲くオレンジのひなげしに、日々癒やされていたのだろ
うな、とあの頃の両親と同じ年代になった私は、想像するの
です。

(編集委員 E・S)